

小学校低学年用

カメラのなみだ

カメタのなみだ

「たすくすきの コンキチは、こつめ にまつた りんを しめます。

その 日も、コンキチの たすくすが はじまりました。ピヨハ子も、こつしょうけんめい そだてて いる かだんの 花を ひひにぬらて します。カメタは、コンキチに りんを かけました。

「コンキチくん、やめなよ。ピヨハ子ちゃんが、かなしくなよ。」

「うるせえ やつだな。」

コンキチは、かだんの 土を カメタの ほうく なげると、むこうく ころて しまいました。土が 目に入つて しまった カメタは、目を にすりしました。にすると ぼろりと なみだが 出ました。

つきの 日、みんなで なわとびをして いると、コンキチが やつて きました。

「おれも、まぜて くれ。おれが、まわして やるぞ。」

コンキチは、なわを まわして いた ピヨハ子から なわを とりあげ、らんぼうに まわしはじめました。

「やめて。やめて。」

みんな、にげまわつて します。カメタは、コンキチに こらえました。

「コンキチくん、やめなよ。みんな いやがつて いるよ。どうして そんな こと するの。」

「なんだと。うるせえ。みんな せうらだ。」

コンキチは、カメタを けとばして むこうく ころて しまいました。カメタは、けられた ところを せすりながら コンキチの うしろすがたを 見つめて いました。すると、

ぼろん

カメタの 目から なみだが にほれました。

きょうも、コンキチは ピヨハ子の だいに して いる かみかきりを とりあげて します。それを見て いた カメタは、ほんと は りつらに とじりもつて しまいました。まのくらな りつらの 井でも、りんは せりんせ きます。

「コンキチくん、かえして。」

「やだね。いっせいで おうで。」

きいて いる うちに、

ぽろん ぽろん

カメタの 目から なみだが ぽれて きました。

しばらく こうらの 中で じっと
考えて いた カメタは、やがて コ
ンキチの ほうへ あるまじました。

「なんだ、おまえか。まだ、けとほして
やろうか。」

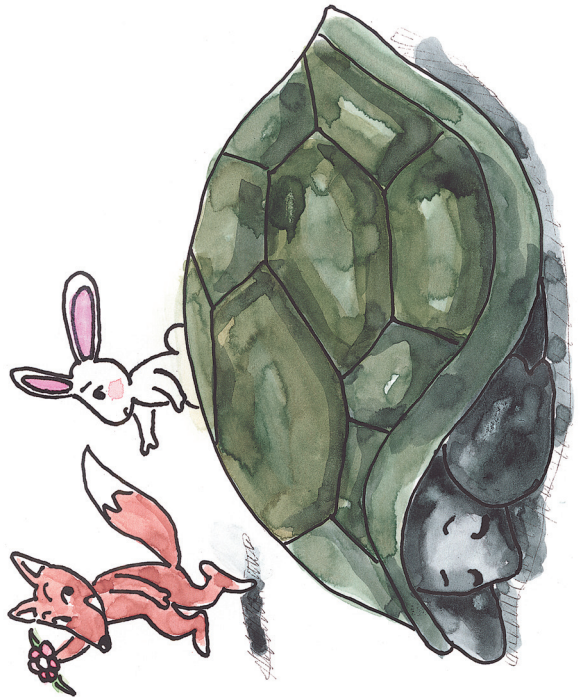
コンキチは、カメタを にらみました。
カメタは こうらに あたまを ひら
けたく なりました。でも、ぐっと
にらえて いました。

「コンキチくん、やめなよ。コンキチ
くんも いっしょに なかよく あ
そぼう。」

じふんでも びつくり する くら
いの 大きな こえが できました。コ
ンキチは、ぽかんと して きいて

いました。やがて、コンキチの 目から、ぽろりと なみだが ぽ
れました。それを見た カメタは コンキチの 手を そとに
のぞきました。

お目さまが ふたりを あたたく につめました。



○ カメタは、こうらの 中で じっと どんな ことを 考えて
いたでしょう。

○ コンキチに、「やめなよ、いっしょに なかよく あそぼう。」と、
いったとき、カメタは どんな 気持ちだったでしょう。

1 小学校低学年用「カメタのなみだ」 指導例

「いじめ」を許さない心を児童に育むためには、よいこととしてはならないことを区別し、よいと思ったことを積極的に行おうとする意欲や態度を身に付けることが重要であり、小学校低学年の時期からしっかりと指導する必要がある。特に、よいと思ったことを躊躇せず進んで行う原動力となるものは勇気であり、本資料では、勇気をもって行動することの大切さについて取り上げている。

カメタは、いたずら好きのコンキチに注意をするが、聞き入れてもらえないばかりか自分も嫌な思いをさせられてしまう。自分のこうらに閉じこもってしまったカメタだったが、やがて勇気をもってコンキチの行いを正していく。注意を聞き入れてもらえないカメタの悔しさや悲しさ、自分のこうらに閉じこもったときの無力感、そしてもう一度自分を奮い立たせてコンキチを正そうとする思いについて話し合い、勇気をもって行動することの大切さに気付かせるようにしたい。また、児童自身が勇気を出して行動できたことを振り返り、話し合うことを通して、そのときの充実感や自己有用感を共有するようにし、これからもよいと思ったことを積極的に行おうとする意欲や態度を育みたい。

- ◆ **主題名** 勇気を出して 指導内容 低1－(3)
資料名 カメタの なみだ (奈良県教育委員会)

◆ ねらい

コンキチに聞き入れてもらえないときや自分のこうらに閉じこもったとき、もう一度コンキチを正そうとしたときのカメタの思いについて話し合うことを通して、勇気をもって行動することの大切さに気づき、よいと思ったことを積極的に行おうとする意欲を高める。

◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、普段の生活を振り返って話し合う。	○ よくないことをしている人を見かけたことはありますか。 ・トイレのスリッパをそろえてぬがない人がいた。代わりにぼくがそろえておいた。 ・廊下を走っている人がいた。高学年なので注意できなかった。	・体験を自由に話し合い、本時の主題につなげる。そのときにどうしたのかについても、振り返っておくようにする。	
展 開	2、資料「カメタのなみだ」を読んで話し合う。	○ カメタは、コンキチが注意を聞いてくれなかったとき、どんなことを思っていたでしょう。 ・どうしてそんなことをするの。 ・聞いてくれなくて悲しい。 ・ぼくまで仕返しされて嫌だ。コンキチ君がこわい。 ○ こうらの中で涙をこぼしているカメタは、どんなことを思っ	・コンキチの後ろ姿を見つめているときや、涙がこぼれたときなど、具体的な場面を設定してカメタの気持ちを考えるようにし、話し合いを焦点化する。 ・どうしてカメタはこうらに閉じこもったのかにつ	

展		<p>ていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・またピョン子ちゃんが困っているよ。悔しいな。悲しいな。 ・注意したいけど、仕返しがこわくてできない。つらいな。 ・何もできない自分が悲しい。 <p>◎ カメタは、こうらの中でじつとどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピョン子ちゃんを助けてあげたい。 ・こんなふうに逃げていたらだめだ。ちゃんと言わなくちゃ。 ・やっぱりコンキチ君にそんなことをしたらだめだって言おう。 <p>○ コンキチに「やめなよ、いっしょになかよくあそぼう。」と言ったとき、カメタはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕返しされても負けないという強い気持ち。 ・絶対やめさせて、一緒になかよくできるようにするんだというコンキチのことも思う気持ち。 ・言えてよかったといううれしい気持ち。 	<p>いても話し合うようにし、何もできず外の声を聞いているときのカメタの無力感に共感できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じつと考えた後に、カメタはコンキチの方に向かって歩き出したことを押さえておくようにする。 ・ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基にして積極的に話し合えるようにする。 ・動作化してみるなど、大きな声で言っていることを感じられるようにし、勇気を出して言えたカメタの喜びや充実感に気付くことができるようにする。 	ワークシート
開	3、自分を振り返る。	<p>○ 勇気を出してよかったと感じたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の学年の人に注意をしたら、聞いてくれた。 ・電車で思い切って席をゆずったことがあるよ。 ・ちょっと恥ずかしかったけど、近所の人に自分からあいさつをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よいと思ったことを積極的に行おうとする意欲を高めるよう、勇気を出して行動できたことを振り返り、話し合うことを通して、そのときの充実感や自己有用感を共有できるようにする。 	
終末	4、「わたしたちの道徳 小学校一・二年」を開き、考える。	<p>○ 「わたしたちの道徳」32～35ページを開きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの道徳」を活用し、これから進んでみたいことを考えるなど、よいと思ったことを積極的に行おうとする意欲を高めるようにする。 	「わたしたちの道徳」

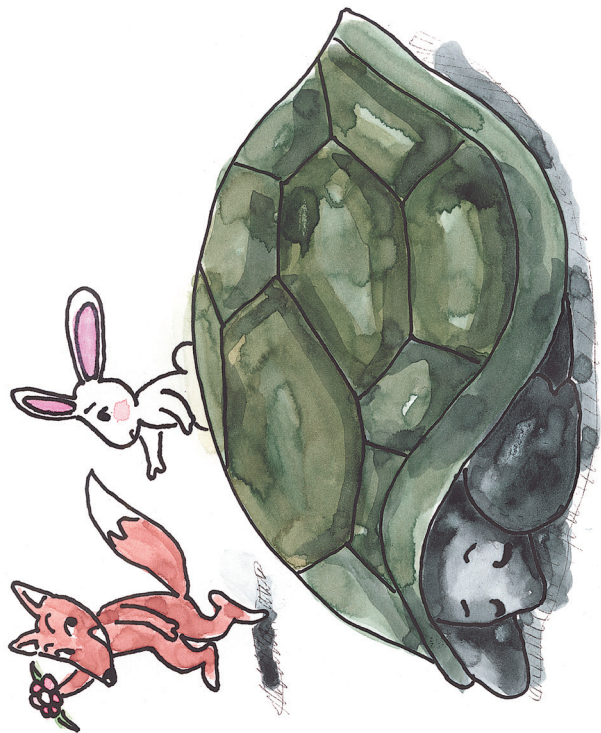
※「わたしたちの道徳 小学校一・二年」は、次のURLよりダウンロードできます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/detail/1344239.htm

じつとくワークシート

名前 ()

カメタは、いろいろな 中で じつと どんな
ことを 考えて くらでしよう。



小学校低学年用

トモちゃん 大すき

トモちゃん 太すき

トモちゃんは、わたしの ともだち。おとなしくて、あんまり
しゃべらない。ちよつと うんどうが にかて。こないだも、シヨ
ウタくんが、^{たい}体育の あと、

「トモヨ、おまえ どんくさいな。ドッジボール、くたそ。」

つて、トモちゃんに 言つて、トモちゃん、なきそうに なつて
いた。

「そんなこと、言いなよ。いやな 気もちに なるやろ。」

はらが たつて、わたしは シヨウタくん に 言つたんだ。

「うわ。マッス、こわー。」

そう 言つて、シヨウタくんは むじうく はしつて いった。

トモちゃん、じぶんから 言わないから、みんな、あんまり
しらないんだ。トモちゃんのこと。

トモちゃん、こないだ、ボールが あたつて たおれた 花だ
んの マリーゴールドを、ひとりで なおして いたんだ。あと
で 水も あげて いたよ。前の せきの、タカシくんの 体そ
うぶくろが おちて いた ときも、だまつて かけて あげて
いた。タカシくん、ぜんぜん 気づいて いないんだ。黒ぼんの
チョコクも、トモちゃんが よく そろえて いる。先生も、気
づいて いないんだと 思つて いたら、きのう、先生が トモ
ちゃんに 言つた。

「トモヨさん、ありがとう。先生、いつも トモヨさんの おか
げで とつても 気もちよく じゆぎようが できるよ。」

それを 聞いて、わたし、とつても うれしく なつた。

一時間目、トモちゃんが さんすうの もんだいを やつて いる と中に、チャイムが なつちやうた。わたし、おしえないうで、トモちゃんが できるの だまつて まつて いたんだ。もう すこしで できそうだったから。トモちゃん、ちゃんと じぶんで できたよ。まつてた わたしの かおを 見て、トモちゃん、にっこり わらった。わたしも とつても うれしい 気もちに なったよ。

トモちゃんは、わたしを いっぱい うれしい 気もちに させて くれる、すてきな ともだち。わたし、トモちゃんが 大好き。



○ 先生の ことばを 聞いて、わたしが うれしく なったのは どうしてでしょう。

○ トモちゃんが できるのを まつて いる とき、わたしは どんな ことを 思つて いたでしょう。

○ わたしは、トモちゃんの どんな ところが 大好きなのでしょう。

2 小学校低学年用「トモちゃん 大すき」 指導例

本資料は、おとなしくてあまり目立たないが、真面目に役割を果たしたり、黙って自分のことができることをしたりしている友達（トモヨ）を見つめている「わたし」（マツミ）の視点から描いたものである。運動が苦手でそのことでからかわれたり、やさしい言動を誰にも気付いてもらえないでいたりするトモヨのことを、いつも気にかけて見守っているマツミの気持ちを丁寧に追いかけることを通して、周囲にいる友達のよいところを改めて見つめ直し、仲よく助け合っていこうとする意欲を高めることをねらいとしている。

展開前段では、トモヨのことを気かけ、トモヨのよさをみんなに分かってもらいたいと願うマツミの思いについてじっくりと話し合うようにする。トモヨが認められたことを、自分のことのようにうれしく思うマツミの態度や、トモヨが自分の力でできるよう願い、教えずにそっと見守るマツミの姿から、無私の友情の素晴らしさを感じられるようにしたい。展開後段では、自分たちを振り返り、友達のよさや頑張っている姿について話し合うことを通して、互いに認め合い、仲よく助け合っていこうとする意欲や態度を育むようにしたい。

- ◆ **主題名** すてきな友達 指導内容 低2－(3)
資料名 トモちゃん 大すき (奈良県教育委員会)

◆ ねらい

マツミが、トモヨのことを気かけ、トモヨのよさをみんなに分かってもらいたいと願う思いや、トモヨが認められたことを自分のことのようにうれしく思う態度、トモヨが自分の力でできるよう願い、そっと見守る姿について話し合い、友達と仲よく助け合っていこうとする意欲や態度を育てる。

◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、友達について話し合う。	○ 頑張っている友達の姿を知っていますか。 ・〇〇君はいつも大きな声で号令をかけているよ。 ・トイレのスリッパを□□さんがそろえていた。	・普段の友達の様子を振り返る機会とし、本時の学習内容につなげるようにする。	
展 開	2、資料「トモちゃん 大すき」を読んで話し合う。	○ 泣きそうになっているトモちゃんを見て、わたしはどんなことを思っただろう。 ・わたしの友達にそんなこと言わ	・おとなしくて言い返せないだけでなく、実際トモヨは運動が苦手であることも押さえ、マツミがシ	

とせちゃん

名前 ()

とせちゃんが できるのを みて いる と
あ、わたしは そんな ことを して いたで
しょう。

